

2018年9月30日（日）TOYAMA キラリ[富山市立図書館]

中山七里さん講演会 & 読書会

【講演会】 ※講演会終了後にサイン会があります。

演題：「執筆に欠かせないもの」

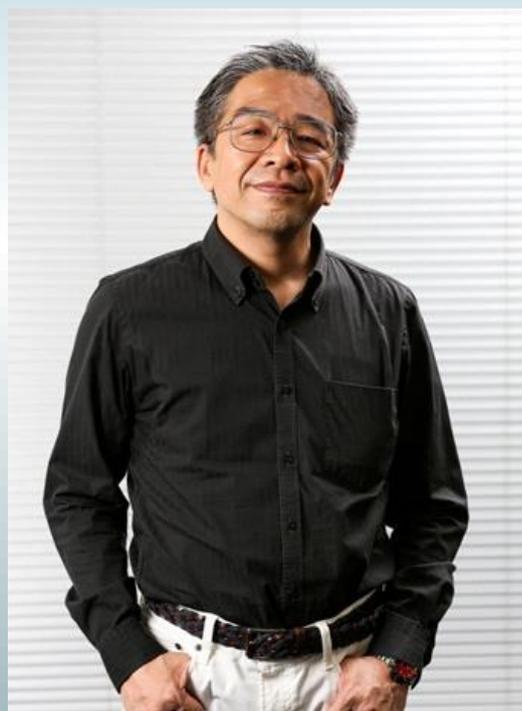
物語終盤の“どんでん返し”を得意とし、幅広いジャンルの物語を生み出す中山氏の執筆過程における、話の組み立て方や書名の付け方、想像力の重要性などについてお話して頂きます。

講師：中山七里さん（作家）

時間：14:00～15:00

会場：2階ロビー

費用・申込：不要



【とやま月イチ読学部】 **要事前申込**

時間：15:15～16:45

会場：3階セミナールーム

定員：約40名

費用：不要

※申込・詳細については裏面をご覧ください。

プロフィール 中山七里（なかやま・しちり）
1961年、岐阜県生まれ。2010年に『さよならドビュッシー』で第8回「このミステリーがすごい！」大賞を受賞し、デビュー。2011年刊行の『贖罪の奏鳴曲（ソナタ）』が各誌紙で話題となり、ドラマ化もされた。近著に『セイレーンの懺悔』『ワルツを踊ろう』『逃亡刑事』『護られなかった者たちへ』などがある。

～ 中山七里さん と本について語ろう～

「とやま月イチ読学部」は、毎月1回開催している本を通じた青年同士の出会い・交流の場となる読書会です。今月は、多数の小説を執筆している中山七里さんに、課題本の内容や執筆過程などについて、皆さんからの質問に直接お答え頂きます。

課題本：『セイレーンの懺悔』 中山 七里 著（小学館）



マスコミは、被害者の哀しみを娯楽にし、不幸を拡大再生産するセイレーン（怪物）なのか。

女子高生誘拐殺人事件が発生した。不祥事により番組存続の危機にさらされた帝都テレビ「アフタヌーン JAPAN」は、起死回生のスクープを狙って奔走する。報道記者と刑事が、事件の真相を追うミステリー。

日時：9月30日（日）15：15～16：45

場所：TOYAMA キラリ3階セミナールーム

定員：40名程度（要申込）

対象：16～45歳で、市内在住か、市内で勤務・活動している方

費用：参加無料。課題本の購入は自己負担です。

※読書会終了後、中山さんのサイン会、全員での記念撮影を予定しています。

申込み方法 受付期間：8月24日（金）～9月24日（休）（先着順）

「とやま月イチ読学部公式サイト」より、メンバー登録を経てお申し込みください。メールによる参加申込も受け付けます。件名を「読書会申込」とし、本文に（氏名、年齢、住所、電話番号）を入力して下記アドレスに送信してください。

※メールで申込された場合9月25日（火）までにメールにて結果をお知らせします。

連絡がない場合には下記にお問い合わせください。

問合せ先

とやま月イチ読学部事務局（富山市民生活部 男女参画・市民協働課）

〒930-8510 富山市新桜町7番38号

TEL：076-443-2051 FAX：076-443-2176

E-mail：dokugakubu@city.toyama.toyama.jp

公式サイト <https://www.toyama-tsukiichi-dokugakubu.jp/>

